

第 38 回卒業式 式辞

本日の早朝は春の到来を告げる嵐となりましたが、この雨をきっかけに、木々は芽吹き、桜の花芽もいっそう膨らむでしょう。

このように、季節の変わり目を感じさせてもらえる良き日に、神奈川県立逗葉高等学校第 38 回卒業式を挙げてきましたことは、私共職員一同にとりまして大きな喜びです。

卒業生の皆さん並びに、保護者の皆さま方には、心からのお祝いを申し上げます。また、ご来賓の皆さま、地域の皆さまにおかれましては、卒業生の門出を祝うために、お忙しい中また、お足元の悪い中、ご臨席をいただき誠にありがとうございます。

卒業生の皆さんとは、皆さんが 2 年生となった始業式で初めてお会いしましたね。秋には修学旅行に同行し、学校で見るのとはまた違った姿を見ることもでき、とても楽しい思い出となりました。そして、今年度は最上級生として、学習や部活動に励む姿、体育祭や文化祭でリーダーシップを発揮する姿、進路に向けて真剣に取り組む姿を見させてもらったことに感謝しています。

皆さんは、この逗葉高校で 3 年間という時を過ごし、入学した時とは違った自分になっていることでしょう。その変化の大きさや内容は、それぞれに異なると思いますが、必ず皆が変わっているはずです。逗葉高校での様々な出来事が、皆さんに作用して変化させたのです。そして、その変化こそが成長なのです。

先程授与した卒業証書は、皆さんの高校での成長を社会に向けて保証した「証明書」です。この証書を自信や勇気という翼に変えて、新しい世界へと羽ばたいてください

もちろん、進学するにせよ就職するにせよ、皆さんが今まさに飛び立とうとしている社会は、決して楽しいだけのところではありません。きっと、これまでに経験したことのない様々な出来事が皆さんを待ち受けていることでしょう。また、答えの出ない問いに悩むこともあるでしょう。

でも、必要以上に恐れる事はありません。今までの経験が、皆さんを成長させた力であったと同様に、これからの経験も皆さんを成長させる糧となるのです。

成長は、ただ上に向かってすくすくと伸びるばかりとは限りません。様々な環境や経験、多くの人との出会いや別れが、私たちに様々に揺さぶります。そして、私たちはその都度、向きを変えて横に伸びたり、下に向かって伸びたり、時には、伸びるのを止めてしまった様に見えるときもあるでしょう。

皆さんも、自分の成長の軌跡を振り返って見たときに、前進していないように感じたり、成果に結びついていないように感じたりするかもしれません。

でも、弱々しく枝垂れた柳の枝が、強い風や降り積もる雪に耐える、しなやかな強さを持

つように、複雑に曲がりくねった梅の枝振りが、少し離れたところから見ると、優雅で美しく見えるように、葉を散らし枯れたように見える木が、芽吹く準備を静かに進め、寒さに耐えながら春を待つように、まっすぐではないが故の強さや美しさ、そして耐えた後の喜びというものがあります。

ですから、周囲との相互作用で生まれる変化を恐れず、それを成長として受け止め、きちんと評価してください。そして、自らが成長し続けるものであるという自覚と誇りを持って、これからの様々な経験に、前向きに取り組んでください。

さて、成長には様々な場面があり、その向きも変化して良いのだと申しましたが、たとえばどのような形であっても、この先、いつも意識しておいてほしいことはあります。それは、責任ということです。

人は一生、成長をし続けます。私たち人間にとって、成長とは人生そのものなのです。ですから、人生に伴って成長の質も変わっていきます。高校を卒業した皆さんにとっての成長は、もはや守られながら育まれる成長ではなく、自身の力で遂げる成長であり、誰かの成長を支える成長です。皆さんは自身の成長に責任を負う立場になるのです。

自分の成長に責任を持つという事は、周囲との関わりの中で、自分の責任を果たすということでもあります。責任を果たせる人間は、周囲から信頼されます。そして、責任感を持って物事に取り組むことで、周囲の方々の協力のありがたさや大切さを知り、感謝する気持ちも生まれます。

どうかこのことを心に留めながら、自らの可能性と未来を信じ、苦境にあってもあきらめことなく、天翔けてください。

最後に、成長を続けることをはじめ、すべては心身の健康が土台となっています。また、今の皆さんがあるのは、保護者の方をはじめとする多くの方々のご支援があつてのことです。どうか、これからも健康に留意し、皆さんを支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちを胸に刻み、新しい世界に向けて鮮やかに飛び立ってください。

皆さんには、無限の可能性があります。皆さんの眼の前に広がる世界が、可能性に満ちた素晴らしいものであることを祈念いたしまして、私の式辞といたします。

平成 30 年 3 月 1 日
神奈川県立逗葉高等学校 校長 大貫晶子